

視覚障害者情報センター運営委員会記録

1. 日 時 平成 30 年 7 月 4 日（水）13 時～15 時 10 分
2. 場 所 新潟ふれ愛プラザ研修室（新潟市江南区亀田向陽 1-9-1）
3. 出席者
 - (1) 委 員 井川亨子（県立図書館・副館長）
石畑健一（県立新潟盲学校・校長）
井上克己（新潟県視覚障害者友好協議会・会員）
大島光芳（新潟県中途視覚障害者連絡会・会長）
斎藤義樹（県視覚障害者情報センター・センター長）
佐藤裕子（点訳ボランティア代表）
松永秀夫（新潟県視覚障害者福祉協会・理事長）
吉田浩（新潟県視覚障害者福祉協会・会員） 50 音順
 - (2) オブザーバー 長崎真理（新潟県福祉保健部障害福祉課主査）
 - (3) 事務局 狩野みさと、浅野歩、近藤風花
4. 議事
 - (1) 平成 29 年度事業実績概要と平成 30 年度事業概要
 - 【意見・要望】
 - ・盲学校への出張貸出（貸出文庫）等で、センター職員と対面で図書を選択や利用ができるような機会を設けてほしい。
 - ・ボランティアの高齢化は大きな課題。若年層への啓発も必要。高校生などの取り込みも検討してはどうか。
 - ・センターが北海道東北ブロックに所属していることに違和感がある。中央に近いブロックに参加するよう所属を変更してはどうか。これまでの枠にとらわれない発想が必要。
 - 【質問】
 - ・図書選定委員会における選定のほかに、どのような選定方法を採用しているのか。
 - ・隔月発行の新刊案内で紹介する資料の選定基準はあるのか。
 - ・メーリングリストによる情報発信について、携帯電話でも受信できるのか。
 - 【情報交換】
 - ・県立図書館では、サピエ利用や対面朗読サービスの提供など、準備が進んでいる。今後も相互協力を継続したい。

(2) 次期指定管理者応募に向けた討議

【意見】

- ・具体的な利用者数の伸びや、図書の出形態（点字や録音）ごとの利用目標を掲げることは重要である。
- ・行事の事前情報提供の充実をのぞむ。
- ・音声解説付き DVD の情報がほしい。
- ・音声解説が付いていない映画の（音声解説の）製作を希望したい。シネマダイジェーではなく、DVD に副音声がついたものが増えてほしい。
- ・図書選定委員会という形式ではなく、広く利用者が参加する図書選定のための検討会を設けてはどうか。
- ・ボランティアとの交流会や読書会などの催しを充実させてはどうか。
- ・「ふれて楽しむ美術展」での鑑賞ボランティアの養成に関心がある。
- ・居住地を越えた、県内各地の水害ハザードマップ等の災害情報を知りたい。

(3) その他

【情報提供】

- ・ふれ愛プラザのプール天井改修工事に伴い、JR 亀田駅から続く点字ブロックの使用ができなくなる。建物の出入りに際し、利用者の皆様に注意を促したい。

(新潟県視覚障害者情報センターとりまとめ)